

JAGCE第3回
北海道支部大会
@北海学園大学
豊平キャンパス教育会館
1階AV教室4

時間軸・空間軸を見据えた羅針盤

～北海学園での出会いから、現在、そして未来への繋ぎ～

2016年7月17日
NECマネジメントパートナー株式会社
八木 智裕
t-yagi@ce.jp.nec.com

自己紹介

北海学園での出会いから

現在(第三回全国大会以降の纏め)

そして未来への繋ぎ(今後の羅針盤)

自己紹介（グローバルビジネスの視点から）

2012～ 概ね現職

2008～2012 NEC本社でソリューション事業
のグローバルオペレーション担当

1999～2008 マレーシア→シンガポール赴任

- インド、ベトナム現地法人設立・立上げ
- 現地校でのスポンサー科目設立(RFID、UC)

1979 日本電気株式会社入社

1979 静岡大学 工学部・情報工学科卒

1968～1975 中高一貫男子校

- ベルギー神父のお陰で中3時英検2級、英文タイプ3級取得

現在所属企業プロフィール

商号	NECマネジメントパートナー株式会社 NEC Management Partner, Ltd.
----	--

設立	2014年（平成26年）4月1日
----	------------------

本社	神奈川県川崎市中原区下沼部1753
----	-------------------

代表者名	代表取締役執行役員社長 松倉 肇
------	------------------

資本金	1億円
-----	-----

株主	日本電気株式会社 100%
----	---------------

年商	440億円（2015年3月期実績）
----	-------------------

従業員数	3,099名（2015年5月末現在）
------	--------------------

NECマネジメントパートナー



5W1H	When	Where	How
繋ぎの要素	継続の力	場所の提供	ノウハウ・費用
学校(学)	◎ (内藤先生の思い)		
地域(官)			○ (助成金)
企業(産)		○ (EXPO出展の場)	弊社支援領域 →JAGCE紹介

■ 産学連携活用事例

http://youtu.be/CsJ_aknT1WI

モチベーションアップに向けた習熟度確認の好機

- ・ 学習効果測定
- ・ 留学準備と成果確認（P r e / P o s t）
- ・ 「企業が求める人材」講演授業

時間軸・空間軸を見据えた羅針盤

■ 現地法人受入能力アセスメント不足

- 行きたい先(Where)にある法人であってWhyやHowに基づいていないケース多い

■ 派遣要員のアセスメント不足

- 行きたい時(When)にある研修であってWhyやHowに基づいていないケース多い

■ ミスマッチの連続が産む現実と課題

- お互いに成長出来ないので継続が困難に！



それぞれの背景要因もあるが、相手を理解しようとしないシーズ指向(トレンド・急ぎ)と繋ぐ意識の欠如

グローバルは時(When)と場所(Where)の違いを知ること→When、WhereがHow(どのように)の3要素で簡略化表示

When, Whereの違いを人任せにしない、繋がり意識のある事例を紹介

← 自身或いは自部門の関与を通して見えた部分の分析かつ簡素化が偏り・誤りもたらしている面あり

2年のオンサイト実証から得た認識について

<http://www.decode.waseda.ac.jp/announcement/documents-for-2016-03-12-13/TomohiroYagi.pdf>

大学進学者は文部科学省高校3年測定者の上位層

スピーキングテストOPIcを試行するクラスは更に上位層

- 大学を偏差値で比較しがちだが、そこで認められるほどの差異は無いし、今回の評価は比較論を展開目的としていない
- クラス適用故、大規模評価が困難。得た知見の相互有効活用が重要と考える。

ACTFLが設定するL2の大学卒業要件到達には更なる努力が必要

- 留学準備の国内での短期研修(西九州大学)
- 短期語学留学研修の成果(実践女子大学短期大学部)

企業が求める実用レベル(サムソンはIH以上)には、産学連携した努力が必要

- サムソンはOPIcの8年に渡る入社足切り(文系IM以上<ACTFL通り>、理系IL以上)適用を経て、3年前からTOEIC-L/R併用停止
- 一般的に大学院進学希望者を除き、大学4年生での成長は認められないが、青山学院大学のゼミ生においてはシンガポールにおける企業訪問を通じての実体験が4年生迄モチベーションを維持(試験英語→実社会での利活用英語)
- 同世代かつ興味領域の交換意識が高い外国人学生(MITの日本に興味ある学生)との会話を支えるスキル習得コンサルは効果大きい、求められるレベル(JAXA/NASA並:OPIでAH)の見せ方・タイミングが今後の課題

OPIcプリーポスト評価立合で興味を覚えた結果（抜粋）

No	サイト	クラス	n	プリM	SD	ポストM	SD	効果量	UP/DN率	AL人数	実用比率	到達比率	備考
1	東京大学	工学部Mスカイプ	20	6.8	1.54	7.5	1	0.42	65	1	70	100	RISTEX検証対象
2	青山学院大学	経済学部ゼミ生	30	5.8	1.58	6.2	1.71	0.25	20		36.7	60	
		3年次	19	5.6	1.84	5.9	1.87	0.16	36.8		36.8	63.2	
		同上卒業前	19	5.9	1.87	6.2	1.89	0.16	21.1	2	31.6	73.7	
		新3年生	24	5	1.57					2	8.3	45.8	樺は繋がるか？
3	関西大学	KU-COIL	13	4.8	1.36	5.2	1.09	0.29	46.2		7.7	76.9	
4			20	4.7	1.23	4.9	1.02	0.16	25		5	70	
5			13	4	1.15	4.6	1.12	0.54	61.5			53.8	科研費
6			99	3.9	1.09	4.1	1.04	0.22	24.2		2	26.3	
7			8	3.8	0.46	4.1	0.64	0.65	37.5			25	プリ19名
8			14	3.8	0.58	3.9	0.86	0.17	7.1			21.4	
9			19	3.8	1.08	3.8	1.26	0.00	5.3			31.6	
10			16	3.6	1.26	3.8	1.33	0.16	18.8		6.3	12.5	科研費
11	実践女子大学短期大学部	教材統制スカイプ	23	3.4	1.08	3.7	0.83	0.28	21.7			17.4	
12	実践女子大学短期大学部	一般スカイプ	19	3.1	0.85	3.3	0.82	0.24	26.3			5.3	
13	実践女子大学短期大学部	海外短期留学	20	3	0.82	3.7	0.75	0.85	40			10.0	
14	西九州大学	留学準備短期合宿	29	2.5	0.63	3.1	0.75	0.87	55.2			0	
15	関東国際高校	1年生ハワイ	20	3.0	0.83			#VALUE!					
16	某中校一貫校	中学3年生	69	2.8	0.71	3.4	0.76	0.85	59.4				オーストラリア修学旅行の中間層半分のポストテスト
			494										
cf	高校3年生26年度調査		16,583	1.94									

留学準備支援

- 要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力
- 要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、
協調性・柔軟性、責任感・使命感
- 要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としての
アイデンティティー

5W1H	When	Where	How
繋ぎの要素	継続の力	場所の提供	ノウハウ・費用
学校(学)	◎ (小張先生の思い)		
地域(官)			
企業(産)	○ (就活を無意識のうちにゼミ組込み)	ゼミ生30名APAC 企業訪問受入調整 (9/8)	OPIcを使った 継続評価

■ 企業産学連携活用事例 モチベーションアップに向けた習熟度確認の好機

- ・学習効果測定
- ・留学準備と成果確認(Pre/Post)
- ・「企業が求める人材」講演授業

8/6LETで
成果発表済





- 前半のAPAC・シンガポールの歴史・概要に関しては、特にシンガポールの計画性・実行力の高さに関心が高かったです。
- 続く事業紹介に関しては「NECってそんな事業をやっているのか」とこちらも発見が多かったという印象です。
（安心、安全といったタイムリーなキーワードに合った事例でしたので、アピールとしては良かったと思います。）
- 後半のHRパートに関しては、グローバルで活躍するためには何が必要かというテーマで英語での質疑もあり、就職活動も控えていますからより自分ごととして聞いていたようです。

大学等における支援実績（O P I cテスト付帯簡易講義除く）

JELES46
ポスター引用

No.	大 学	実施時期	内 容	スタイル
1	青山学院大学	'14/5/13	Five W's and One H	講義 1 コマ分 セミナー
2	北海学園	'14/10/30	企業からのグローバル人材への期待	セミナー
3	明治学院大学	'14/11/14、21 '15/11/13、27	グローバルビジネス	講義 2 コマ
4	早稲田大学	'15/5/1	キャリアデザイン学	講義 1 コマ
5	東洋大学	'15/6/3	視聴覚教育	講義 1 コマの 半分
6	名古屋大学	'15/9/3	E-learningからテレビ会議交流へ	コメンテーター
7	関西大学	'15/12/5	KU-COILトークセッション	パネル
8	北海道情報大学	'16/1/18	スピーキングは高度なAI コミュニケーション	セミナー
9	愛媛大学	'16/2/17	グローバル時代を楽しみ、活躍するには？	就活セミナー

No.	発表学会	実施時期	内 容	備 考
1	JACET関西支部大会	'13/11/9	英語能力テスト最新事情－英語コミュニケーションテストOPIc－	http://www.jacet-kansai.org/file/2013_test_gaiyou.pdf
2	JACET関東支部大会	'14/6/29	企業における英語コミュニケーションスキルの実態とスキルアップの喫緊性	http://www.jacet-kanto.org/2014convention/2014_Program_20140701.pdf
3	2014 PC Conference	'14/8/10	OPIcを活用した英語コミュニケーションスキルの評価とスキルアップ研修の効果	http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2014/papers/pdf/contents_2.pdf#search='%E5%85%AB%E6%9C%A8%E6%99%BA%E8%A3%95
4	大学英語教育学会第53回（2014年度）国際大会	'14/8/29	OPIcを活用した英語コミュニケーションスキルの評価とスキルアップ研修の効果	http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2014/papers/pdf/contents_2.pdf
5	JACET中国・四支部大会	'15/6/6	大学における OPIc (Oral Proficiency Interview by computer) の活用シーンと英語コミュニケーションスキルの実態	http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~bld10/JACET/JACET2015_6_JACET_Chapter_Program.pdf

No.	発表学会	実施時期	内 容	備 考
6	JACET関東支部大会	'15/7/12	OPIc英語コミュニケーションテストの学内実施を通じて見えきたスキル 評価レベルの実態とテスト運営・学習環境課題	http://www.jacet-kanto.org/2015convention/2015_Program_0628.pdf
7	グローバル人材育成教育学会第2回北海道支部大会	'15/8/8	企業におけるグローバル人材育成のあり方と産官学連携のスタイル～NECグループ海外現法を活用したグローバルインターンシップ実践報告～	http://www.j-agce.org/hokkaido-2report/
8	グローバル人材育成教育学会第3回全国大会(JAGCE)	'15/11/14	産学連携によるグローバルインターンシップ実践報告～留学準備支援と海外現法訪問の意義～	
9	日本英語教育学会第46回年次研究集会(JELES)	'16/3/12	英語スピーキング能力の可視化によるプログラム適用効果の考察：レベルの傾向分析と産学連携で考えるグローバル人材へのステップ	
10	日本外国語教育推進機構会誌第三号寄稿 (JACTFL)	'16/3/13	多言語学習の効用と可能性	

JELES-46('16/3/12)のリストが16→26に拡がり

開示可能校・プログラムが8→14に拡がり

学会発表プログラムが1→6(受理済み含む)に拡がり

科研費適用研究1→7(適応可能のDefact?)に拡がり

- 「英語 スピーキング」検索で研究中ヒット47件(可視化乏しい)

実施不可能と思われた環境において関係者の支援で実現

- MAC環境でもバーチャルOSで快適実施(先進大学)
- セキュリティーの関係で困難を極めた大学・高校で関係者理解を得て実施
- ヘッドセットの予算外調達実施

時間や場所を、育成対象者の能力並びに期待されるレベルに合わせて実現するには、先ずは育成対象者の現状把握とJAGCE等を通じた効果的ネットワークをより一層広く・太い物にしたい

場の提供に当たって産官学の密なる連携は欠かせない

特に地方再生の切り札の1つは若いグローバル人材の育成であり、地方支部には大変ですが支部大会の継続だけでなく、産官学が交流する場や成功事例のみならず苦労談も含めた情報交換促進をお願いしたい

 **弊社・小職も可能な限り、過去人脈も含め貢献したい**

■ 拡がりの加速化

■ 繋がりの適正化

■ インバウンド・グローバルを踏まえて

- OPIc-Jの正式展開開始：海外留学生から学ぶ国内留学
- OPIc-隣語の展開検討
←ICT環境活用促進、地方への拡がり加速化

■ Brexitを踏まえて

- 英語だけでないグローバル言語
- JAXAパイロットをロールモデルに

■ 迷走しない程度の時間軸・空間軸を意識した繋ぎに貢献

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

Empowered by Innovation

NEC